

3万7550社

創業100年以上の企業数

日本が世界一 家業残す意識強く

創業から100年以上が経過している老舗企業の数は、3万7550社（3月現在）——。日本は100年企業が世界で最も多い企業長寿国だという。

2019年に調査した帝国データバンク、ピューロー・ヴァン・ダイク社によると、2位の米国は1万9497社、3位のスウェーデンは1万3997社。大差をつけている。

日本最古の企業とされるのは、建築工事業の金剛組（大阪）で、創業は飛鳥時代578年にさかのぼる。同社によると、聖徳太子が朝鮮半島の百濟から招いた工匠の1人が金剛組初代にあたるという。

ようかんで知られる虎屋（東京）も古い。起源は室町時代で、後陽成天皇の在位中にお菓子を献上していた記録がある。菓子を発注するカタログのよう

な「菓子見本帳」など歴史的な品々も残されている。

日本の企業はなぜ、ここまで長寿なのだろうか。帝国データバンク情報統括部の担当者は「日本の場合、東証1部（当時）に上場する企業で100年以上続く老舗は589社もある。世界で類を見ない多さ」と話す。オーナー企業が多く、全体の51%を占める。日本特有だという。

同社によると、日本の上場企業の中で最も古い企業は安土桃山時代の1586年に創業された松井建設（東京）だ。歴史は、本能寺の変からわずか4年後に始まった。初代・松井角右衛門が加賀藩第2代藩主、前田利長の命による越中守山城（富山県）の普請を請け負ったことが創業のきっかけとされる。

松井建設は築地本願寺本堂復興をはじめ、明治時代以降2000件を超える神社仏閣や城郭など伝統建造物等の建設や保存修理の事業を手掛けてきた。同社の松田由紀男総務部長は「創業以来手がけてきた数多くの伝統技術の伝承を社会的使命としており、今後も誇りと自信を持って仕事に邁進したい」と話す。

慶応義塾大学の飯盛義徳教授（経営学）は長生き企業が多い日本の特徴をこう分析する。「老舗のファミリービジネスは、利益を最大化しようというより、子孫など次の世代へ家業や伝統を残そうという意識が強い」。老舗企業は地元と互恵関係を結び、地域ブランドを作り、街とともに発展する例も多いという。（森下香枝）



建築現場で使われる墨壺（すみづみ）。松井家の家宝になっている。松井建設提供

■長い歴史を持つ上場・非上場企業トップ5

	上場企業	非上場
1	松井建設 (1586年、建築)	金剛組 (578年、建築)
2	住友金属鉱山 (1590年、鉱業)	西山温泉慶雲館 (705年、旅館)
3	綿半ホールディングス (1598年、小売り・建設)	古まん (717年、旅館)
4	養命酒製造 (1602年、薬用酒製造)	善吾楼 (718年、旅館)
5	小津産業 (1653年、織物卸業)	田中伊雅 (885年、仏具)

※帝国データバンク調べ。カッコ内は創業年と業種

朝日新聞2022/5/31掲載【承認番号：22-1628】

「（数字は語る）3万7550社 創業100年以上の企業数 日本が世界一、家業残す意識強く／神奈川県」より

※朝日新聞に無断で転載することを禁じる